
バイオハザードINJAPAN

ケロロ軍曹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バイオハザードIN JAPAN

【NZコード】

N5930S

【作者名】

ケロロ軍曹

【あらすじ】

2010年・・・。

クリス達B.S.A.Aは、今もB.O.Wを根絶やしにするため活動を続けていた。

今度の任務は、アンブレラ日本支部があらたな生物兵器を製造する会社を設立した・・・。そして、地獄で出会った警部五十嵐 辰巳との、不思議な友情も生まれる・・・。

クリス達は、巨大な実験場とされた東京から抜け出せるのだろうか・・・。

プロローグ1（前書き）

どうも、初小説です。結構グダグダなのでそれでも付き合っていた
だければ、と思っています。感想ください！待っています！

プロローグ1

ウーーウウー

日本警察のパートカーのサイレンがネオンの田立つトーキョーの中に
うるさくひびく。

「どうだ、状況は。」と一人のがつしりとした体格の警察らしき男
が隣の若い男に話しかけた。年齢は40代か、30代といったところだろう。

「ええ、報告によれば、人食い病はかなり大勢の人達がかかつてい
るようです。しかしその人たちも死体みたいでしたけど、まさか本
当に・・・。」と20代ほどのこちらも警察らしき男が、最後のほう
はおびえたように報告した。

「ばか。日本は武士の国だぞ。そんな事は信じねえよ。第一どつか
のアホがながしてんだろ。死体みたいってのは、たぶん見間違いだ。

「でも、政府もみとめてるって話ですけど。」

「そつそれはだな・・・。ま、まあいい!。とにかく鎮圧にまわれ
!。」

このような問答が続いて、終わった直後、「う、うわああああ!
!!!」というすさまじい悲鳴とパン、パン!という銃声が聞こえて
きた。振り返ると歩く死体のようなやつらが、バリケードをこわし
て、警官の一人を食いちぎっているところだった・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5930s/>

バイオハザードINJAPAN

2011年10月9日00時22分発行